

NAGANO善光寺よさこい

取組に至る背景・事業の目的

中心市街地の賑わいの創出、観光誘客による地域活性化を図るため、平成 27 年度から開催している「NAGANO善光寺よさこい」。

この事業により、長野の魅力を県内外、全国へと発信し、新たな観光イベントを長野に定着させることを目的とし、現在も継続して実施している。

事業内容

全国から集まった参加チームが、工夫を凝らしたオリジナル演舞を舞い、コンテスト方式で審査するとともに、「NAGANO善光寺よさこいオリジナル演舞」を参加者全員で舞う。

よさこいを通じた長野の新たな魅力の発信と、全国各地のよさこい愛好者との交流を図るため、平成 30 年度は下記日程で事業を実施した。

他に、能登よさこい、安曇野よさこい等へも参加したほか、NAGANO善光寺よさこいの当日に撮影した写真のコンテストを実施。応募は 161 点、入賞作品は 3 箇所で開催され多くの方に PR した。



【写真コンテスト 最優秀賞作品】
「観衆の声援を受けて」

○日時：平成 30 年 5 月 4 日（金・祝） 10 時から 16 時まで
（歩行者天国は 9 時から 17 時まで）

○会場：善光寺表参道（中央通り）、長野駅前広場

○参加：県内外から一般 20 チーム、ジュニア 2 チーム、計 22 チーム 374 人の参加

○演舞：舞台を 3 箇所に分け、それぞれの舞台を各チームが順に回って複数回演舞。計 78 回の演舞が披露された。また、全員で行う「NAGANO善光寺よさこいオリジナル演舞」（総踊り）を 7 回、全国からの参加チームの各地域オリジナル総踊りを 12 回、合計して 97 回の演舞を実施

○善光寺前での演舞：一般上位 3 チーム、ジュニア 1 チームが演舞

○運営に関わった地域スタッフ：103 名

○他イベントとの協力：善光寺花回廊、表参道芸術音楽祭（長野市）、14 丁目広場

事業効果

例年、地域の協力を得ているが、地元商店会や高校生、地元住民などから昨年を大幅に上回る 103 名のスタッフに参加していただき、GWの一大イベントとして定着してきた。

参加チームも昨年の 19 チームから 22 チームに増え、地元小学校にはよさこいクラブが結成されるなど、地域ぐるみでの取組となっている。

他のよさこいイベントにも積極的に参加し、善光寺よさこいの発信、PR や、地域交流が図られるなどそれぞれの地域での盛り上がり貢献し交流の輪が広がりつつある。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

参加チームも 3 チーム増え、よさこいチーム同士の交流も深まってきた。H30 年度は、能登よさこい、安曇野よさこいに参加させていただき、善光寺よさこい「切り火」を披露したほか、善光寺よさこいの PR を行うことができた。今後も積極的に他のよさこいイベントとの連携・協力を行っていく。

【選定のポイント】

地元商店街を中心に、住民が協力してよさこいイベントを実施することで、長野の魅力や賑わいを参加した全国からのチームを通じて県外に広く PR できた。地元の小学生、高校生、商店会等、地元住民が参加するなど幅広く地域間・世代間交流が促進され地域活性化が図られた。

団体名 NAGANO 善光寺よさこい実行委員会（長野市）

連絡先 026-228-0294

HP <http://nagano-zenkouji-yosakoi.jimdo.com>

E-mail zenkoi@mx1.avis.ne.jp

事業タイプ	ソフト・ハード事業
事業費	2,974,412円
支援金額	1,485,000円